

計画(案)と計画(素案)との対照表

1 提出された意見に基づく計画(素案)の修正

(1) 「基本目標1 地球市民として脱炭素社会をめざすまち」について

ア 対象の意見

家庭で太陽光パネル、V2H 等の導入により脱炭素を実現することで、環境面だけでなく市民生活にどのようなコスト面等のメリットがあるか明確に示し、市民の環境意識の引き上げにつなげてほしい。

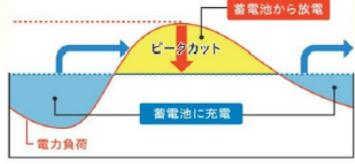
イ 修正理由及び修正事項

本計画において、対策強化による温室効果ガス排出量の削減目標として、家庭部門からは約 71,000t-CO₂の削減を掲げている。この目標を達成するための主な対策である省エネ家電や再エネの導入に大きな対策効果を見込んでいることから、一人ひとりが意識して取り組む省エネ行動による効果に加え、省エネ家電への買い替え等による効果についても追記する。なお、効果は省エネ効果及び節約効果とする。

ウ 修正箇所

計画書 61 ページに次のとおり追記する。

項目	(案)	(素案)
第4章 施策の展開 基本目標1	<p>■家庭部門における省エネ家電への買い替え等による効果の目安 2013年と2023年の家電性能を比較し、年間の省エネ効果と節約効果を試算しています。 買い替え等による省エネルギー対策は初期投資が家計への大きな負担となるため、予算や耐用年数を考慮し、ご家庭に合わせた無理のない範囲での検討をお願いします。</p> <p>○エアコン</p> <p>2013年: 903 kWh 2023年: 769 kWh 期間消費電力量 (kWh/年)</p> <p>【条件】10年前の平均と最新型の省エネタイプ (多段階評価★3.0以上) 【省エネ効果】約 15% 【節約効果】約 4,150 円</p> <p>○テレビ</p> <p>2023年: 170 kWh (液晶テレビ) 2023年: 202 kWh (有機ELテレビ) 年間消費電力量 (kWh/年)</p> <p>【条件】4K: 55 インチ 1日1台平均視聴時間 5.1 時間 【節約効果】液晶テレビ: 約 5,270 円 有機 EL テレビ: 約 6,260 円</p> <p>○冷蔵庫</p> <p>2013年: 370 kWh 2023年: 267 kWh 年間消費電力量 (kWh/年)</p> <p>【条件】定格内容積 451L~500L 【省エネ効果】約 28%~約 35% 【節約効果】約 3,190 円~約 4,430 円</p> <p>○温水洗浄便座</p> <p>2013年: 173 kWh 2023年: 160 kWh 年間消費電力量 (kWh/年)</p> <p>【条件】貯湯式 VS 貯湯式 【省エネ効果】約 8% 【節約効果】約 400 円</p> <p>【条件】貯湯式 VS 瞬間式 【省エネ効果】約 44% 【節約効果】約 2,170 円</p>	

	<p>○太陽光パネル、蓄電池、V2H 電気料金の安い深夜電力を蓄電池に蓄え、電気料金の高い日中に使用したり、余剰電力を売電したりすることで電気代の節約になります。また、V2Hで車から家への給電が可能になるため、災害時にも活躍します。</p>  <p>【条件】太陽光発電の発電コスト: 約 17.7 円/kWh(2020) 一般的な電力会社の電気代: 約 31 円/kWh(2022)</p> <p>【節約効果】 自家発電: 約 13.3 円/kWh 売電: 固定価格買取制度対象期間 15 円/kWh(2025) 固定価格買取制度対象期間満了後 7 円/kWh (2025 年 1 月 20 日時点 四国電力 HP)</p> <p>資料: 一般社団法人 家電製品協会 「スマートライフおすすめ BOOK」</p>	
--	---	--

2 その他の修正

(1) 家庭部門における省エネ行動による効果の目安 (60 ページ)

ア 修正内容

「省エネ性能カタログ 2023 年版」→「省エネ性能カタログ 2024 年版」

イ 修正理由

資源エネルギー庁より、最新版である「省エネ性能カタログ 2024 年版」が公表されたため。

(2) 表現及びレイアウトの調整等